

令和6年3月4日 (令和5年(2023年)度第57号)



# 全国保育士会委員ニュース

本ニュースは、全国保育士会委員、顧問、監事、都道府県・指定都市保育士会事務局に送付しています。

社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
全国保育士会事務局

〒100-8980  
千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
TEL 03-3581-6503  
FAX 03-3581-6509  
Mail hoikushikai@shakyo.or.jp  
<http://www.z-hoikushikai.com>

ホームページで、こども家庭庁による  
「こども誰でも通園制度(仮称)」説明会 動画を公開中!

<ニュースの内容>

## ■ 【募集中】令和6年度 食育推進研修会 開催のご案内

／7月25日(木)～26日(金)開催

## ■ 日々の食育で活用できる！パンフレット(3種)を作成しました。

【保育者向け】毎日の食事を中心とした食育の推進～保育のなかの食育～

【保護者向け】毎日の食事で育つ子どもたち～園と家庭がつながる食育～

【地域の関係者向け】毎日の食事が子どもを育てる～地域でつながる食育～

## ■ 【募集中】令和6年度 食育推進研修会 開催のご案内

／7月25日(木)～26日(金)開催

全国保育士会では、7月25日(木)～26日(金)に「令和6年度 食育推進研修会」を開催します。

本研修会は、昨今の子どもの食育をとりまく課題について共有をはかり、子どもの状態にそった食育のあり方や、食育計画をもとにした食育実践について理解を深めることを目的に開催するものです。また、各職種の専門性を活かした連携、家庭や地域との協働について学び、保育所・認定こども園等ならではの食育の意義や役割を考える機会とします。

次年度は、本研修会としては初めてとなる「情勢報告」のプログラムを実施します。こども家庭庁の担当官から、国全体の食に関する動きや、保育所・認定こども園等における乳幼児期の食育等についてお話しいただく予定です。

また、次年度も本年度に引き続き「アーカイブ配信」を用意し、より多くの方に研修を受講いただけるようにいたしました。なお、アーカイブ配信で受講される方はグループワークへの参加はできません。

令和6年度 食育推進研修会 開催要項

令和6年 7月25日(木)～26日(金)  
(アーカイブ配信)  
8月19日(土)10:00～9月2日(日)17:30

**開催方法・定員** ※定員いっぱいから募集いたします

- 対面形式の会場参加(定員50名)  
会場：ホテルグランドパレス 4階「ロイヤルグランド」  
〒200-0003 千代田千代田駅前地区(旧)2-10-3  
ホテルグランドパレス
- オンラインを使用したアーカイブ配信(定員なし)

**対象**

食育に関わる方  
保育士・栄養士、調理師、保健士、健康師  
全国保育士会食育推進委員

**参加費**

対面形式の会場参加:10,000円  
オンライン配信参加:5,000円  
アーカイブ配信参加のみ参加:15,000円  
アーカイブ配信のみ参加は、参加費の半額となります。

主催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会・全国保育士会・全国保育協議会  
実施主体：全国保育士会(食育推進委員会)食育推進委員会

人が生きるうえでの基礎、基盤となる乳幼児期の「食育」について、基本的な知識から「with コロナ」時代の今に生きる具体例まで学べる内容です。知識とともに、全国の保育関係者との交流の機会として、ぜひご参加ください。

【日時】 令和6年7月25日（木）～7月26日（金）

〔アーカイブ配信〕8月19日（月）10:00～9月2日（月）17:30

【開催方法・定員】 ※下記二つのいずれかからお選びください

(1) 対面形式の参集参加(定員 150 名※定員になり次第締め切りとなります。)

場所：ホテルグリーンタワー幕張 4階「ロイヤルクレッセント」  
〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野 2-10-3

(2) クラストリームを使用したアーカイブ配信(定員なし)

【参加対象】 ● 食育に携わる方（保育士・保育教諭、調理員、栄養士、看護師等）  
● 全国保育士会食育推進委員

【参加費】 (1) 10,000 円  
(2) 15,000 円

## プログラム

1日目 7月25日 困

12:30～ 受付開始

13:00～13:10 「全国保育士会 倫理綱領」唱和  
「全国保育士会 食育推進ビジョン」唱和  
開会あいさつ

13:10～13:20 「全国保育士会 食育推進ビジョン」について

13:20～13:50 **情報報告**  
(30分間) 食を取り巻く国の動向

### 講義 I

13:50～15:20 **子どもの発達に応じた食へのアプローチ(仮題)**  
(90分間) 食にかかわる子どもの発育・発達のなかで注目すべきもののひとつに、口腔機能があります。口腔機能は食べ方に直結し、その発達が“食べる機能”を向上させ、子どもが楽しく食事できることにつながります。  
口腔機能の発達に問題がある場合、離乳食の進み具合や食べ物の飲み込み、食事時間、食の嗜好等に悪影響が生じることもあります。  
本講義では、口腔の基本的知識や口腔内の状況が及ぼす影響等を学び、保育所・認定こども園等だからこそできる子どもの食へのかわりを考えます。  
講師：権 暁成 氏 (K DENTAL CLINIC 院長)

15:20～15:35 休憩

### 講義 II

15:35～17:05 **配慮が必要な子どもに寄り添う食育～保護者支援を含めて～(仮題)**  
(90分間) 配慮が必要な子どもは、食へのこだわりや特性があったり、感覚過敏や食事の選好に配慮を要することがあります。  
それぞれの特性にあわせた食事の対応、かわり方等、柔軟で楽しい食育を通じて、栄養摂取や食習慣の改善を促進し、発達支援を行っていく必要があります。  
本講義では、障害特性の基本的な事項を学び、「偏食」「過食」「あそび食べ」等が見られる子どもへのアプローチの方法や多職種の職員との連携や保護者のサポートについても学びます。  
講師：水野 智美 氏 (筑波大学医学医療系 准教授)

17:05～17:10 事務連絡(食育推進委員以外の参加者はここで1日目終了)



9:00～ 受付開始

**講義Ⅲ <講義・グループワーク>**

9:30～12:30  
(180分)

**子どもの育ちを支える食育～保護者支援・家庭との連携～(仮題)**

乳幼児期の食育は、心身の発育・発達や豊かな人間性の形成などに不可欠なものであり、保育所・認定こども園等の特性を活かし、保育の一環として推進することが求められます。

また、食育を推進していることを保育所・認定こども園等から発信することが、子どもを中心とした食育のさらなる向上につながります。

※途中休憩あり

※12:30～13:30  
昼食休憩

本講義では、全国保育士会が発行した、「毎日の食事を中心とした食育の推進」パンフレット(3種)をもちいて、保育者が食育に取り組む意義や家庭との連携・協働、地域との連携、関係者への情報発信の方法等について学びます。また、食育計画の具体的な組み立て方やPDCAサイクルの活用方法についても改めて学びます。

講師：野口 孝則 氏(上越教育大学大学院 教授)

15:40～15:45  
(5分間) 閉会あいさつ

※講師の掲載きは令和6年2月1日時点

【お申込み】 下記専用サイトからお申込みください。(申込締切 6月27日(木))

<https://www.mwt-mice.com/events/hoikushikai240725>



※詳細は下記ホームページをご確認ください。

【全国保育士会ホームページ】>研修会>食育推進研修会

<https://www.z-hoikushikai.com>

## ■ 日々の食育で活用できる！パンフレット(3種)を作成しました。

【保育者向け】毎日の食事を中心とした食育の推進～保育のなかの食育～

【保護者向け】毎日の食事で育つ子どもたち～園と家庭がつながる食育～

【地域の関係者向け】毎日の食事が子どもを育てる～地域でつながる食育～

全国保育士会は、令和元年度に保育所・認定こども園等（以下、保育所等）で取り組んでいる「食育」を言語化し、冊子「子どもの育ちを支える食」を作成しました。

この冊子をもとに、保育所等で取り組んでいる食育の意義をより多くの方に知らせることを目的に、対象者別のパンフレットを作成しました。



毎日の食事を中心とした食育の推進  
～保育のなかの食育～



毎日の食事で育つ子どもたち  
～園と家庭がつながる食育～



毎日の食事が子どもを育てる  
～地域でつながる食育～

パンフレットは、食育に関する疑問や悩み等に対して、専門家の視点からわかりやすく回答・解説を行う形式で作成しています。また、パンフレットを監修いただいた野口孝則氏（上越教育大学大学院 教授）による解説動画を作成しました。QRコードを読み取りとることで、気軽に視聴いただくことができます。

食育の意義・重要性を学ぶ機会に、また保護者や地域の関係者へ食育の取り組みを説明するツールとしてご活用ください。

※会報誌「保育士会だより」1月号に【保育者向け(表紙がオレンジ)】を同封

※会報誌「保育士会だより」3月号に【保護者向け(表紙がトマト)、地域の関係者向け(表紙がピーマン)】を同封

※次のページに「活用事例」を掲載しています。

## 《活用例》

### 園内研修で活用する

- パンフレットには Q1～Q5 とその回答が掲載されています。
- 各設問に対する答えを職員同士で考え、全体で共有し、解説動画で学識者の視点から振り返りを行います。

#### Point !

- 各職員が“食育”についてどのように考えているか共有することがとても大切です。
- 保育者、栄養士、調理師などの食育に関わる全ての職員が連携し、それぞれの意見を共有しましょう。

### 保育所等の特徴を活かした食育の実践

～保育のなかの食育～

乳幼児期の子どもの生活の場である保育所等では、毎日の食事(給食やおやつ)の提供を中心とした日々の食育を積み重ねることで心身の成長を支援し、さらに「調理・喫食・栽培・収穫などを通じた食への興味・関心を高める多様な取り組みを実施されているのではないのでしょうか。

また、食育に関する実践は、保育士・保育教諭と栄養士・調理師等の全職員が共通認識を回り、それぞれの専門性を活かしながら計画的かつ総合的に展開されていることが必要です。

### Q2 保育者として、どのような意識を持って食育に取り組めばよいですか？

全ての園における「毎日の食事の時間」こそが「保育者の食育」であり、「保育の質」を高める絶好の機会と捉えています。子どもへの言葉のかけ方だけでも食事への印象は大きく変わります。子どもの食への興味・関心が高まる言葉を送ること、そして子どもが食べたいものを好きなこと、これが保育者の食育の基本です。急ぎすぎなくて大丈夫です。

**取り組み事例のご紹介**

毎日の食事の様子を給食担当者が確認する

毎日の食事は子どもの成長を支えています。働き方改革による栄養士の不足や、栄養士の確保が難しい園もあり、またその栄養士の確保が難しい園、子どもの食事の様子をみて評価・検証し、必要に応じて提供栄養士の改善を実施します。

### Q1 保育所等で食育に取り組むのはなぜ？

保育所等における食育の重要性として、発育・発達中の乳幼児期は、乳幼児期の食育が重要な役割を果たすため、食育は乳幼児の健康・増進をはじめ、日々の活動や発育・発達のために必須であり、低年齢であるほど生活に占める食事の割合が大きくなります。特に、乳幼児は消化・吸収・排泄機能が未熟であり、個人の発育に応じた形態の食事が提供されなければ十分なエネルギー及び栄養素の摂取ができないため、保育所等で提供される食事は、保育士・保育教諭と栄養士の連携・協働による献立作成・食事提供を推進する必要があります。

このように、食への経験の積み重ねによって子どもが成長し、子どもの成長に合わせて食事を変えていくことが求められます。

**ポイント!**

日々の食事は子どもの食行動を発達させます。

保育所等には、食行動を発達させる役割があります。食への経験が子どもの発達や保育所保育の基盤であるため、保育所等における食育の専門性を活かした取り組みを実施する必要があります。

特に、食への経験は子どもの意欲を引出すことや、食生活にもつながるため、保育士と栄養士との連携・協働による食育の推進が重要です。

### Q3 食育計画について教えてください。

全体的な計画に基づいて食事の提供を含む食育計画を作成し、各年齢やクラス別に食育を実施する際の目標(ねらい)や内容を記載して、園全体で共有しましょう。

職員全員の創意工夫による食育実践の後に、評価・反省を記録し、園内での定期的な連絡調整や、年間評価に基づく次年度計画を作成しましょう。

**ポイント!**

食育計画は「チェックシート」である

年度はじめに作成した食育計画の内容を「食育チェックシート」として活用することで、毎年の食育実践の進捗を確認し、「できたこと」や「できなかったこと」を明確に判断することが可能となります。また、その結果(改善点)などを活用し、翌年の計画を立てることで、食育実践の質の向上につなげていきましょう。

### Q4 園内での専門職同士の連携について教えてください。

保育士・保育教諭と栄養士・調理師等の相互の話し合い等を通じて、食育実践におけるお互いの専門性の向上や保育全体の質の向上のための課題を明確にしましょう。それとともに、園内全体の保育や食育の内容に関する共通認識・共通理解を深めていくことが求められます。

**取り組み事例のご紹介**

園内の情報共有

園内の情報共有方法としては、定例の会議(栄養士等)にて食事の提供や食育の実践に関する評価・反省を議論することがよいでしょう。

保育士・保育教諭と給食担当(栄養士・調理師等)の双方が「思っていることや気づいたこと」を共有し、すり合わせることが大切です。

Q1. 保育所等で食育に取り組むのはなぜ？



十分なエネルギーおよび栄養素などの摂取ができないため、保育所等で提供される食事というのはは

野田 国太郎

スマートフォン、タブレットから QR コードを読み取ると、解説動画を見ることができます！

解説動画 画面

「子どもの育ちを支える食」保育者向けパンフレットをご覧ください、保護者や地域関係者への発信にご活用いただくとともに、より一層の食育の推進に取り組んでいただきますようお願いいたします。

パンフレットのデータは、全国保育士会ホームページからダウンロードできます。

【全国保育士会ホームページ】

<https://www.z-hoikushikai.com/>



【全国保育士会 YouTube】

<https://www.youtube.com/@user-nr1uz4hg5p>

